

福岡市共働事業提案制度 令和元年度審査報告書

**令和元年 9 月
福岡市市民公益活動推進課**

目 次

第 1 審査報告

1 提案募集・選考経過	1
2 選考審査通過事業（概要と選定理由等）	3

第 2 資料編

資料 1 採択事業の企画書	4
資料 2 共働事業提案制度の概要	12
資料 3 審査項目	14
資料 4 共働事業提案制度推進委員名簿	15
資料 5 共働促進アドバイザー名簿	15

第 1 審査報告

1 提案募集・選考経過

(1) 提案の募集期間

テーマやジャンルを問わない 自由提案	概要書	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 7 日
	本提案書	令和元年 6 月 10 日～7 月 19 日
市が提示したテーマに基づく提案	本提案書	令和元年 6 月 6 日～7 月 19 日

(2) 提案サポート

① 提案サポートセミナー

応募を考える NPO 等に対し、制度概要や共働の意味に対する理解、提案力の向上を目的として、セミナーを実施した。

■開催日時 1 回目：平成 31 年 4 月 9 日（火） 19：00～21：00
 2 回目：令和元年 5 月 9 日（木） 19：00～21：00
 3 回目：令和元年 6 月 6 日（木） 19：00～21：00

■会 場 福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん

② 提案内容ヒアリング

「自由提案」として概要書を提出した提案団体に対し、課題や事業内容を明確化し、市担当課との面談に臨むため、共働促進アドバイザーとともにヒアリングを行い、実現に向けたアドバイスを実施した。

■実施時期 令和元年 6 月 12 日（水）、13 日（木）

■会 場 福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん

(3) 「市のテーマ」

① 「市のテーマ」説明会

市が提示したテーマに基づく提案を募集するため、「市のテーマ」について市担当課による説明会を実施した。

■開催日時 令和元年 6 月 6 日（木） 19：00～19：50

■会 場 福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん

(4) 提案団体と市担当課の面談会

共働促進アドバイザーのコーディネートのもと、提案団体と市担当課とが面談する場を設け、NPOが解決を目指す課題や提案内容、また、市が認識している市民ニーズや実施している事業等について意見交換を行った。

■実施時期 令和元年6月24日（月）、26日（水）、28日（金）

■会場 福岡市役所内会議室

(5) 公開プレゼンテーション・第2回推進委員会（選考審査）

資格要件審査を通過した2事業について、提案団体と市担当課による公開プレゼンテーションを実施し、選考審査を行った。

■開催日時 令和元年8月30日（金） 14：30～17：00

■会場 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

(6) 応募状況及び審査結果

提案の種類	概要書 提出	本提案書 提出	資格要件審査 通過事業数	選考審査 通過事業数
テーマやジャンルを問わない自由提案	3件	1件	1件	1件
市が提示したテーマに基づく提案(テーマ数：1)	—	1件	1件	1件
合 計	3件	2件	2件	2件

2 選考審査通過事業（概要と選定理由等）

NO. 1

事業名	外国人材受入れ企業等への教育支援事業		
提案団体	(特活) グローバルライフサポートセンター	事業予定額	4,495 千円
市担当課	経済観光文化局経営支援課		
事業目的 及び概要	外国人受入れの法整備が進む中、外国人受け入れを人材確保の手段として検討する企業に対し、セミナーを実施することで法制度の概要や受け入れにあたっての注意点などを身に付けてもらうとともに、セミナーを通して蓄積したノウハウの共有・発信を図る。		
選定理由等	○生活面における外国人との共生は課題であり、外国人材受入れ企業等への支援事業は、中小企業のニーズにも合致していると思います。 ○成果によっては、費用対効果の高い事業であることから、KPIが重要で、採用した企業数や人材数等のKPIが必要と考えます。 ○事業の軸となるセミナーの内容がざっくりとした印象であり、事業の実施にあたっては、成果指標の設定や、正しい現状が伝わる仕掛け、多様な外国人材への対応など、NPOの専門性を活かしたきめ細かな支援を期待します。		

NO. 2

事業名	古代おもてなし料理の復元・活用事業～古代食による歴史へのいざない～		
提案団体	(特活) デザイン都市・プロジェクト	事業予定額	3,997 千円
市担当課	経済観光文化局史跡整備活用課		
事業目的 及び概要	鴻臚館の発見から30年経過し、話題性・認知度が低下する中、「古代食」の復元・活用や文化財を活用した市民参加型のワークショップを実施することにより、鴻臚館の魅力向上を図る。		
選定理由等	○古代食の復元や鴻臚館ブランドを育てるという発想は面白いと思います。 ○「鴻臚館の魅力向上」との関係や成果が分かりづらい印象であり、古代食による事業展開のほか、ハンドブックや周遊マップの作成・活用など、インバウンド向けの取組み等を工夫することで、鴻臚館の賑わい創出に繋がっていくことを期待します。 ○民間ベースで、文化財の活用を継続して行うことのハードルは高いため、活動内容を常に見直ししながら柔軟に実施することが必要と考えます。		